

国際室 たより

編集：日本弁護士連合会
国際室

No.58

会員専用ウェブサイトの
国際ページはこちら



(本紙に記載されている
イベント等の詳細をご覧
いただけます。)

第10回日韓バーリーダーズ会議(2024年1月11日~12日)

2024年1月11日~12日、第10回日韓バーリーダーズ会議が東京で開催されました。日韓バーリーダーズ会議は、1987年に開始した日弁連と大韓弁護士協会(大韓弁協)との交流会を前身とする歴史ある会議です。コロナ禍でもオンライン会議による交流を継続していましたが、今回は2018年以來の対面開催となりました。両会の執行部を含む総勢約70名が参加し、活発な意見交換等を通じて交流を深めました。

会議は、日弁連小林会長(当時)及び大韓弁協金協会長の挨拶及び両会の事務総長による会務報告から始まり、日弁連から「日本における刑事司法制度改革と再審法改正への取組」について発表し、えん罪防止に向けた取組と再審法改正に向けた活動を紹介しました。大韓弁協からは、韓国では、被告人保護の観点から公判で自白調書を否認すれば証拠採用されないこと、国内人権機関が検察官に対して再審不服申立ては制限的に実施すべきであるとの勧告を出したことで実務が変化したことなどが紹介されました。

次に大韓弁協から「職業倫理とAI、AI関連規制導入現況」と「弁護士

の秘匿特権(ACP)導入の必要性と韓国の現状」について発表があり、その後の質疑応答の中で、法律業務に関するAI利用についての両国における議論状況が共有されたほか、韓国でACPに係る弁護士法改正案の国会提出に当たり大韓弁協が国会説明や実質的な法案作成を担ったことなどが紹介されました。次回会議は2025年、韓国ソウルで開催される予定です。

(国際室嘱託 小林 美奈)



両会参加者の集合写真

日弁連海外ロースクール推薦留学制度 —帰国者による報告会— (2023年12月12日)

日弁連海外ロースクール推薦留学制度により留学を終えた会員による報告会が開催されました。ニューヨーク大学、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、カリフォルニア大学バークレー校、エセックス大学、シンガポール国立大学の各ロースクールにて、客員研究員やLL.M.コースの学生として留学を経験した会員が、本制度による留学の魅力や苦労話、留学後の実務との関わりなどを、写真等を交えながら説明されました。本制度の研究結果である研究報告論文は、日弁連会員専用サイトにも掲載されています。また、今回は、報告会の第二部として、ニューヨーク大学で本制度の留学生の受入れを担当しているブルース・アロンソン教授をお迎えして、同大学ロースクールでの客員研究員プログラムについて詳しく紹介するセッションも開催しました。

(国際室嘱託 尾家 康介)

IBA年次大会

(2023年10月29日~11月3日)

日弁連が団体会員となっている国際法曹協会(IBA)の年次大会が、フランス・パリで開催されました。今回の大会では、各種セッションにおいて世界の弁護士の議論に参加し、また、理事会でのIBAの組織の意思決定に関与しました。会期中に、在フランス日本国大使公邸で日弁連と在フランス日本国大使館でレセプション“Japan Night”を共催し、世界各国の法曹界のリーダーに向けて、日本と日弁連のことをよりよく知ってもらう機会を設け、多数の出席を得ました。加えて、フランス全国弁護士会評議会(CNB)が主催したG7バーリーダーズ朝食会に参加し、そこで行った議論を踏まえて、共同声明を発出することとなりました。2024年の年次大会は、メキシコ・メキシコシティで開催される予定です。

(国際室嘱託 尾家 康介)



Japan Night会場の様子

第36回 LAWASIA年次大会(インド・ベンガルール)

2023年11月24日~27日、インド・ベンガルールにてアジア・太平洋地域の法律家の団体であるアジア太平洋法律家協会(LAWASIA)の年次大会が開催されました。

日弁連執行部からは松田純一副会長(当時)が代表として参加し、小原正敏会員(LAWASIA日本代表理事)とともに理事会に参加したほか、オーストラリア、ベトナムの弁護士会などとの各国における課題に関する意見交換の会合やレセプションを通じて、各国からの代表者及び参加者との交流を深めました。



理事会出席者の集合写真

特に、インド法曹協会とは、友好協定を締結して末永く友好的な関係を築いていく方向性が確認され、早期締結に向け両会で手続を進めていくことを合意しました。

次回の年次大会は、本年10月にマレーシア・クアラルンプールにて開催予定です。

(国際室嘱託 松本 成)

国際会議若手会員 参加補助制度のご案内

日弁連では、会員の国際活動を支援し、弁護士の活動領域を国際的に拡大するために、若手会員に国際会議への参加費用を補助しています。2024年度は弁護士登録後10年以内で一定の要件を満たす場合にご応募いただけます。オンライン会議も本制度の対象です。現地参加の場合は会議の開催時期により応募の締切があります。詳細は日弁連ウェブサイトをご覧ください。



海外ロースクール推薦留学制度 説明会を開催します!

日弁連では、ニューヨーク大学、カリフォルニア大学バークレー校、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、エセックス大学、シンガポール国立大学の各校との協定に基づき、日弁連の推薦する弁護士を客員研究員やLL.M.コース学生として派遣する制度を設けています。2025年度留学生は、2024年6月頃募集を開始する予定です。

日弁連海外ロースクール推薦留学制度説明会

日時：5月15日(水)午後5時30分~午後7時(終了後午後8時まで弁護士会館にて、過去に本推薦留学制度を利用した40期代~60期代の会員との懇親会を開催)

開催方法：弁護士会館1701AB会議室及びZoomによるオンライン

※説明会の詳細は日弁連ウェブサイトをご覧ください。



UIA年次大会(2023年10月25日~28日)

日弁連が団体加盟をしている国際弁護士連盟(UIA)の年次大会が、イタリア・ローマで開催されました。今回の大会では、日弁連がアジアンロイヤーズフォーラムを後援するなど、世界の先端の議論を通じて意見交換や情報収集に努めました。また、開催地ローマに本部を置くイタリア弁護士会(CNF)の表敬訪問を行って歓待を受けたほか、英国ローソサエティーやインド弁護士会の代表者との会合を行い、各地の弁護士会との友好関係を深める機会となりました。日弁連からは、副会長が参加したほか、個人として参加した会員も多くあり、各セッションや社交イベントで活躍をしていました。2024年の年次大会は、フランス・パリで開催される予定です。

(国際室嘱託 尾家 康介)